

## 航空自衛隊小松基地航空祭でのミニセミナー：平成22年10月3日



今回の講師は、小松基地F15戦闘機パイロットの藤江1尉です。航空祭で機動飛行展示訓練を披露したばかりのところを参加してくれました。  
今回は、ミニセミナーとしては過去初めての一問一答のインタビュー形式。小松基地の日本海側に置かれている戦闘航空集団の役割やスクランブル対応の実態を交えつつ、航空自衛隊の任務、特に小松基地の重要性を、ハキハキとわかりやすく語ってくれました。



藤江1尉は、個人装具(航空機操縦手用ヘルメット、耐Gスーツ等)も持参してくれ、ミニセミナー終了後に展示説明をすると共に、時間の関係で質疑応答で十分に応じられなかった質問にも応じてくれました。また来場者から握手やサインを求められていましたが、パイロット日々の訓練や勉強はとても地味なものであると語っていました。

## こんなの知ってた？



航空祭でお披露目された本年度F15戦闘機最優秀公募デザイン機「カブッキー」。「カブッキー」は、小松市のイメージキャラクターです。



近畿中部防衛局では、近畿2府4県の  
1) 防衛省自衛隊  
2) 地方自治体(地域住民)  
3) 在日米軍  
をそれぞれにつなぐパイプ役の業務を主に担当しています。



当日配布した近畿中部防衛局の広報誌(年に4回発行)や防衛省自衛隊に係る資料は、近畿中部防衛局や防衛省のホームページから閲覧できます。

## 特別講義講師派遣



近畿中部防衛局では、自衛隊基地・駐屯地のみならず、ロータリークラブや学校等から要請があれば、防衛省自衛隊の活動につき、講師を派遣しています。派遣に伴う費用は一切かかりませんので、ぜひお問い合わせください。



防衛省のロゴマークです。緑の部分は、26万人の隊員からなる防衛省を表しています。隊員の両腕に守られている青い球の部分は、地球を表しています。日本の防衛と国際社会の平和のために行動する防衛省の仕事とこれに積極的に取り組む隊員の気持ちを表現しています。